

近代館

— 絵に描かれた美しき風景 —
風 の さ さ や き、
水 の ゆ ら め き



安井曾太郎《十和田湖》1932年

仏教館

— 仏像と近代絵画の出あい —

すがた
うるわし

〈十一面観世音菩薩立像〉平安時代・重要美術品



2018年 5月26日 [土] — 9月17日 [月]

会期中無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料 *団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい



上原美術館

Uehara Museum of Art

近代館

— 絵に描かれた美しい風景 —

風のささやき、
水のゆらめき

「樹を描くとしたら、風が吹けば木の葉の音のする木を描きたい(中略) 触れば冷い川、湖水の深さまで表はしたい」。風景を描くことについて、安井曾太郎はそう述べています。画家たちは耳を澄ませば聞こえてくる風や水の音、肌触りまで表現しようと試みました。今回の展覧会では、モネやマルケから安井曾太郎、竹内栖鳳まで、絵画に描かれた風や水の表現に注目します。



クロード・モネ《ジヴェルニー付近のセヌ川》1984年



竹内栖鳳《海濱小舎》1927(昭和2)年

仏像のもつたおやかな姿、絵画にあらわれるやわらかな線。作品のもつ美しさの中には、人を惹きつけてやまない“かたち”が存在しています。十一面観世音菩薩像や阿弥陀如来像の仏像と、ルドンや鏑木清方など絵画作品とも共通するような“うるわしい姿”をご紹介します。

仏教館

— 仏像と近代絵画の出あい —

すがた
うるわし



《薬師如来坐像》平安時代後期



オディロン・ルドン《ブリュンヒルデ、神々のたそがれ》1894年



ギャラリートーク

毎月第3土曜日 11:00、14:00より

場所 仏教館・近代館

申込 不要 ※要入館券

内容 展示室にて学芸員が解説を行います。

●お車で

東名高速道路 沼津ICより下田方面へ
1時間40分

●鉄道・バスで

東京駅より特急踊り子号 2時間40分

伊豆急下田駅下車

同駅より堂ヶ島方面行バス 20分

相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341

Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp